

平成29年度 生徒による授業評価

【1】 授業評価の流れ

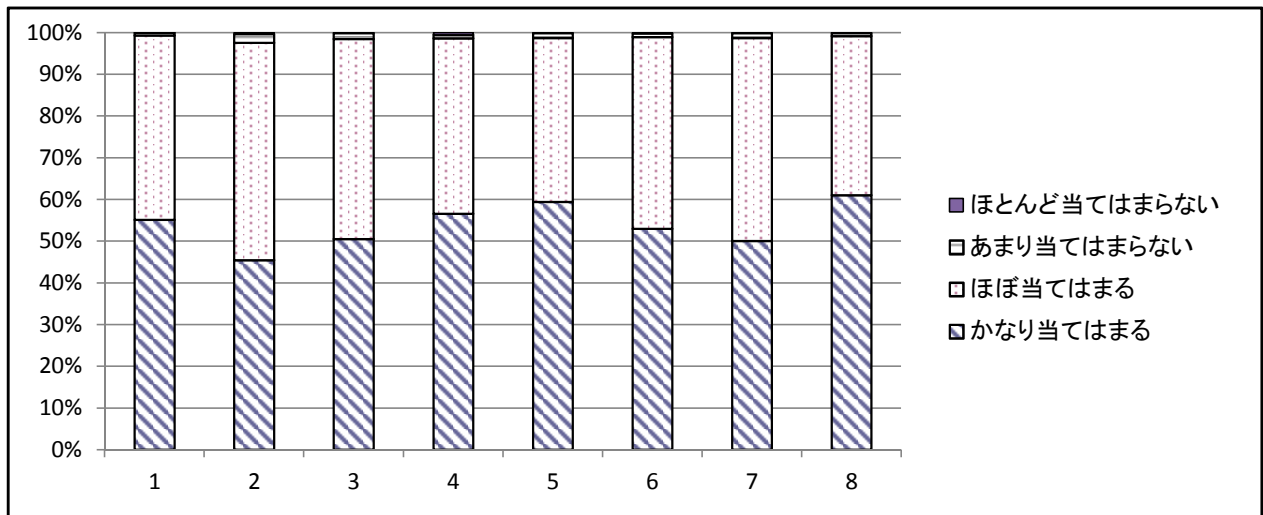
5月	調査方法・評価項目等の検討
7月	第1回の授業評価実施
8月	集計結果の分析、課題と解決の手立ての検討
9～11月	分析結果をもとに、研究授業等の授業改善に取り組む
12月下旬	第2回の授業評価実施
2～3月	集計結果の分析、改善状況と今後の課題の検討

【2】 授業評価の結果

生徒による授業評価の結果は次の通りです。

項目 評価	上段： 実数				下段： %			
	1	2	3	4	5	6	7	8
	授業の準備・教材の工夫	授業の充実感	授業の進め方	生徒主体の授業の工夫	説明の分かり易さ	生徒への接し方	生徒自身の学習への取り組み	生徒自身の態度・姿勢
4 かなり当てはまる	2582 55.1%	2131 45.5%	2365 50.5%	2650 56.5%	2784 59.4%	2483 53.0%	2345 50.0%	2861 61.0%
3 ほぼ当てはまる	2071 44.2%	2439 52.0%	2251 48.0%	1972 42.1%	1841 39.3%	2153 45.9%	2280 48.6%	1787 38.1%
2 あまり当てはまらない	31 0.7%	98 2.1%	63 1.3%	40 0.9%	55 1.2%	41 0.9%	54 1.2%	32 0.7%
1 ほとんど当てはまらない	3 0.1%	19 0.4%	8 0.2%	25 0.5%	7 0.1%	10 0.2%	8 0.2%	7 0.1%

グラフ資料



### 【3】 授業評価結果の分析

- ① 授業の内容や指導方法に関する項目(1～6)においては、すべての項目で「かなり当てはまる」「ほぼ当てはまる」の合計が、昨年より増加し97%を超える高い評価を得ました。また、「あまり当てはまらない」「ほとんど当てはまらない」も減少し、生徒は概ね授業には満足していると考えられます。今後もより一層、生徒がわかりやすい授業を目指して、授業内容の充実や指導方法の工夫等の努力を重ね、生徒が関心・興味を持って学習に取り組めるように授業改善を進めていきます。
- ② 生徒自身の授業への取り組み、態度・姿勢に関する項目(7～8)においても、「かなり当てはまる」「ほぼ当てはまる」の合計は、昨年より少し増え98%を超える高い評価結果になりました。多くの生徒が積極的に授業に参加し、しっかり取り組んでいると考えられます。その一方で、家庭学習の取組や授業に対して理解しようとする意欲等について、やや不足している生徒もおります。来年度も、そうした生徒の学習意欲を高め、自主的に学習する習慣を定着させられるように研究授業等を活性化し、毎日の授業に反映出来るように努力いたします。

### 【4】 まとめ

生徒による授業評価のすべての項目において、肯定的評価が昨年度より若干増加しており、この結果を鑑みると、生徒は授業に満足して取り組んでおり、学校目標である「基礎学力の定着を図り、学ぶ意欲を向上させる」等が十分達成できたものと考えられます。昨年度同様、本校の様々な授業改善の取組が正しい方向に進み、成果を上げたものであると確信しております。

本校では、授業改善のテーマとして「生徒が主体的に学ぶ授業」を掲げ、学校全体で授業改善に取り組んできました。基礎学力の定着を図り、生徒が主体的に参加できる授業の実践のために、教材研究を綿密に行い、生徒がわかりやすい授業を各教科で日々研究してきました。また、今年度は、視覚情報を増やすため、「まなボード」や「マグネットシート」、「書画カメラ」等を活用した授業の実践も行い、校内の研究授業及び研究協議会等を通じて、指導方法や教材の工夫等、様々な面で情報の共有を行い、その後の授業に活用してきました。

生徒一人ひとりの個性、学習力に対して、今まで以上に柔軟に対応し、より良い自己実現が可能になるように、来年度もさらにより良い授業改善に努めていきます。

「生徒による授業評価」は、授業を客観的に評価する一つの重要な方法です。生徒からの評価を通して授業に関する課題を改善して指導力の向上につなげると同時に、学校としての組織的な授業改善を進め、より良い授業の構築を目指します。

さまざまな場面において、家庭との連携が一番重要です。連絡を密にとり、生徒支援ができますようにご協力をよろしく願いいたします。